

# 小枝で鉛筆作り

※人数制限はありませんが、用具に限りがあるので、人数が多い場合は時間が必要になります。  
さいたま市立館岩少年自然の家

ねらい	④自然で創作	所要時間	1時間 (20名程度で実施した場合)
身に付くことが期待される項目	③自然への関心 ④課題発見・設定 ⑧体力・健康への関心	⑦学習との関連付け	
概要	自然の家の敷地内にはたくさんの種類の樹木があります。木をよく観察し、硬さや質感など、それぞれの木のちがいも感じとれたら素敵ですね。 手作りのよさや道具の使い方を知りながら、自分だけのオリジナルの鉛筆を作り上げましょう。		

## 1 準備する物

### 【個人で用意する物】

・ボンド・油性ペン

### 【個人で見つけてくる物】

・小枝

### 【館岩少年自然の家で用意できる物】

・のこぎり・ハンドドリル・万力・小刀

### 【館岩少年自然の家で購入できる物】

・小枝で鉛筆作りセット(小枝、芯、ボンド)

※ 小枝は、購入したものをを使うか敷地内から探したものをを使うか選んでください。

※ ボンドは、複数人で1つです。

## 2 具体的な活動内容

### ① 小枝を10~12cmに切る。

小枝を見つける場合は、親指位の太さで、簡単には折れない硬さのものを選びます。

### ② 電動ドリルまたはハンドドリルを使って枝に芯を入れるための穴をあける。

#### ○電動ドリルの場合

所員や引率の先生が電動ドリルを使って鉛筆の穴を開けます。

#### ○ハンドドリルの場合。

・万力で小枝をしっかり押さえます。

・小枝の中心に穴があげられるように、ドリルの先をしっかりと当ててから回しましょう。

・あけた穴に削りカスが詰まることがあるので、ドリルの刃を何回か出し入れして、芯が通りやすくなるようにしましょう。



③ 穴のあいた小枝にボンドを塗ったえんぴつの芯を入れる。

- ・芯を折らないように少しずつ入れていきましょう。
- ・芯が奥まで入り切ったら、余った芯を折りましょう。



④ 小刀でえんぴつの先をけずる。

- ・小刀は、自分の体から遠ざけるようにして刃を動かしましょう。

※②と④の順番を入れ替えて作ることもできます。

⑤ 上の方をけずって名前を書いたり、模様を付  
けたりする。



### 3 活動上の留意点

【活動を指導する先生方へ】

- ・自分で小枝を拾う際には範囲を決め、危険な植物にさわらないように事前に指導してください。
- ・児童生徒にのこぎりや小刀の使い方を指導してください。のこぎりが折れたり、刃が曲がったりすると、次に使用する学校ができなくなる恐れがあります。
- ・使用前、使用後にのこぎりや小刀の数を確認し、元の場所に収納してください。
- ・木の種類によって硬くて穴が開きにくいものもあります。必要に応じて支援をしてください。

### 4 身に付くことが期待される項目の具体例

#### ③自然への関心

- ・木の表面と内部の違い(色、質感)に気が付く。
- ・様々な枝の中から、太さや模様等の違いに気が付く。

#### ④課題発見・設定

- ・木の種類によって硬さや質の違いがあることについて気が付き、疑問をもつ。
- ・切った枝の形や節に疑問をもてる。

#### ⑦学習との関連付け

- ・図工:「のこぎりの使い方」の内容と関連付けている。

#### ⑧体力・健康への関心

- ・のこぎりを安全に扱うことができる。
- ・ハンドドリルを安全に扱うことができる。
- ・小刀を安全に扱うことができる。